

ご招待状



'10日本国際工作機械見本市出展の最新鋭工作機械・機器が勢揃い!

UM モールドフェア

信頼のマーク

“アフターJIMTOF”

開催日時：平成23年 **1月21日(金)** AM9:30 ~ PM5:00 ・ **22日(土)** AM9:00 ~ PM5:00

開催場所：**インテックス大阪5号館**
大阪市住之江区南港北1-5-102

入場無料

オープンフェアですので
どなたでも
ご来場いただけます

モノづくり
未来を創る夢づくり



主催

金型設備総合商社 **植田機械株式会社** 日本工作機械販売協会正会員

本社 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東5-1-18 ☎06(6743)0110 FAX.06(6743)0101 支店/東京・九州・仙台・中国(廈門)

詳細はホームページをご覧ください <http://www.um-system.jp>

後援 ◇ (社)日本金型工業会 西部支部 近畿鍛工品事業協同組合

UMモールドフェア 協賛予定社一覧

(50音順)

【機械関係】

(株)アマダマシンツール
オークマ(株)
大阪機工(株)
(株)岡本工作機械製作所
倉敷機械(株)
黒田精工(株)
(株)ソディック
(株)ソディックプラステック
長島精工(株)
(株)ナガセインテグレックス
ニッコー(株)
日本精密機械工作(株)
牧野フライス精機(株)
(株)牧野フライス製作所
松本機械工業(株)
三井精機工業(株)
三菱重工工作機械販売(株)
(株)森精機製作所
安田工業(株)
(株)和井田製作所

【測定機関係】

(株)東京精密
(株)ミツトヨ

【精密金型部品加工】
(株)オージーファイン
(株)コーセイ
鋼板工業(株)
佐藤技研(株)
チャンピオン工業(株)
(株)寺方工作所
東レ・プレジジョン(株)
(株)日清精工
ピヨンス(株)
ベノック(株)
(株)ヤマウチ
吉川化成(株)

【ソフトウェア関係】
ヴェロ・ジャパン(株)
(株)NTTデータエンジニアリングシステムズ

(株)C&Gシステムズ
(株)ジェービーエム
(株)セイロジャパン
(株)セスクワ
(株)データ・デザイン
(株)トヨタケーラム
ヒカリ情報システム(株)

【ツーリング、治工具関係】

(株)ウエダ・テクニカルエントリー
エム・ゲ・フランケン(株)
(株)MSTコーポレーション
(株)エロワ日本
オーエスジー(株)
システム・スリーアール日本(株)
大昭和精機(株)
日進工具(株)
(株)本間製作所

【素材】

東洋炭素(株)

【協賛出品】

(株)エヌシーネットワーク
京都試作ネット
近畿鍛工品事業協同組合
(社)日本金型工業会 西部支部

【リース会社】

近畿総合リース(株)
興銀リース(株)
昭和リース(株)
日本GE(株)
三井住友ファイナンス&リース(株)
三菱電機クレジット(株)
三菱UFJリース(株)

【新聞社】

(株)金型新聞社
(株)商工経済新聞社
(株)日刊工業新聞社
(株)ものづくり新聞社

特別講演会

1月21日(金)
10:30~12:00

「頑張り日本の中小企業 — 中, 韓, 印, 越南, 泰に 負けない経営 —」

「二段底は回避された。景気は必ず回復する。これから日本の出番が来るだろう」と断言する橋本教授が、リーマンショック後の回復過程にある日本経済が今後どうなっていくのか、また、世界がうらやむほどの実力を持った日本の中小企業の力強さと、今後生き抜いてゆく道を分かりやすくお話しします。



政策研究大学院大学 教授
橋本 久義氏

昭和44年東京大学工学部精密機械工学科卒業後、通産省入省。昭和53年より西ドイツデュッセルドルフにJERTO調査員として3年間駐在。その後、機械経済産業局 鋳造品課長、中小企業技術課長、総括研究開発官等を歴任。平成6年には埼玉大学教授を経て、平成9年から現職。発展途上国の産業発展、中小企業の活性化をメインテーマに研究に取り組まれている。

1月21日(金)
13:30~15:00

「平成23年の経済展望」

日本の政治はあと数年、まだまだ不安定な状況です。世界の情勢は、中国の市場は拡大を続け、新興国は活力にあふれています。アメリカ経済はさまざまな難題を抱えており、ヨーロッパには試練の時期でしょう。その中で日本経済は、しばらくは「踊り場」の今が踏ん張り時だと言えます。



エコノミスト
松下 滋氏

昭和38年東京大学卒業後、三和銀行に入行。三和総合研究所取締役理事や大阪大学大学院客員教授、UFJ総合研究所首席エコノミストなどを歴任。現在は大阪商工会議所大阪経済調査会代表幹事を務める。日本経済新聞への定期寄稿、全国各地での経済講演等で活躍中。

1月22日(土)
10:30~11:45

「日産自動車のモノづくり ~ NPWを軸とした 金型づくり ~」

円高や原材料高騰、不透明なグローバル経済等コントロール困難な逆風の中、このリスクに打ち勝つコスト競争力を持ち、新興諸国での事業拡大と、日本がモノづくりのリーダーとして果す役割について、NPWを軸に金型づくりを説明。また、持続可能なモビリティ社会に向け本格化するEVのバッテリー生産技術も紹介。



日産自動車(株) 新車生産技術部 執行役員
木村 昌平氏

昭和54年静岡大学工学部卒業後、同年日産自動車入社。日本、米両国で生産技術部、技術部のマネージャーを担当。平成18年より日産追浜工場長、平成20年にはインドプロジェクトをこ担当、平成21年より現職。新車生産技術部を担当

1月22日(土)
13:00~14:30

「日本の モノづくりの未来」

日本を支える「モノづくり」はどのように生き残っていけばよいのか。世界で起きている変化、競争力などを分析した上で、戦略を描いていかなければならない。私たちを取り巻く環境が大きく変わっているからこそ、私たち自身も変わらなければならない。変化の状況、日本産業界が進むべき道筋、そのために何をすべきかを解説する。



(株)日刊工業新聞社 相談役
千野 俊猛氏

昭和46年早稲田大学卒業、日刊工業新聞社入社。編集局の産業社会部長、経済部長、ニュースセンター長、局次長兼第一産業部長などを歴任。平成14年取締役編集担当・本社編集局長、平成15年代表取締役社長。平成22年11月から現職。経済産業省産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会委員なども務める。